

健康ほくほく通信

園 保健介護課 保健係 内線3111、3113～3116

No.16 マダニに注意しましょう！



マダニとは？

- ・森林や草むらなど屋外に生息する比較的大型のダニです。(吸血前3～8mm、吸血後10～20mm)
- ・シカ、イノシシなど野生動物にもくっついており、出没する場所に多く生息します。
- ・飼い犬等がマダニをつけて持ち帰ることもあります。
- ・皮膚の柔らかいところ(わきの下、足の付け根、手首など)を探してかみつきます。
- ・かまれると、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱などの感染症になることがあります。

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは？

- ・マダニにかまれてから6日～2週間後に発症します。(最新の患者発生状況：今年4月に県内で1件報告あり)
- ・症状は発熱、嘔吐、下痢、腹痛などです。
- ・重症化し、死亡することもあります。(R2.6.18現在県内33人中8人死亡)
- ・マダニの刺し口が見つからないこともあります。

吸血中のマダニに気付いたら、手でつぶしたり、無理に引き抜いたりせず、医療機関で処置しましょう。

マダニにかまれても痛みや痒みは少なく、気付かないこともあります。山へ行ったり、畑で作業したりした後に熱などの症状が出たら、すみやかに医療機関を受診してください。

マダニの対策

- 肌の露出をなるべく控えましょう。(帽子、首にタオル、手袋や靴下の中に袖・裾を入れるなど)
- 肌が出る部分や襟・袖・裾などに噴霧。(ディートを含む防虫スプレー)
- 帰宅後は上着類を家の外で脱ぎ、すぐに入浴してマダニにかまれていないか確認。
- ペットもマダニ対策をしましょう。(散歩後のブラッシング、定期的なマダニ駆除剤の使用など)

北宇和病院
だより



新型コロナウイルス ワクチンについて

現在、町内では新型コロナウイルスに対するワクチン接種が順調に進められており、既に2回目の接種を終わらせた方もおられます。接種を終わった方は、ひとまず安心されたかと思いますが、感染の収束にはまだ目処が立っておりません。

ワクチンは発症の抑制や重症化の予防には高い効果を示していますが、感染そのものを完全に防ぐことはできません。場合によってはウイルス感染しても症状がでないため、ワクチン未接種の方に感染を広げる危険性もあります。ワクチン接種後も引き続き人混みでのマスク着用や手指消毒など感染予防対策を十分にとってください。

当院でも院内感染予防のため、来院時の検温とマスク着用を継続しております。ご協力のほど、よろしくお祈りいたします。

バビ永保育所に巣を作った
ツバメの親子。子どもたち
を保育所に通うたびに育
てを見守る中、あつと子育
間に成長し、元気がよくなった
に飛び立って行きました。



今月の1枚

編集後記
▼今月号で広報きほくは200号の節目を迎えました。毎月広報を発行することだけで苦慮しているところですが、過去の広報を見ると文章の書き方や写真など参考になることがたくさんあり、見習わなくてはと身の引き締まる思いです。これまでに発行された200号の広報はホームページに掲載していますので、どなたでもご覧になることができます。当時の町の出来事に改めて気づいたり、知り合いの懐かしい写真に出会えたりするかもしれません。(史)